

2026年度 女子 堺春季大会 競技規則

2025年度からの変更点(太字斜体)を確認してください。

採点規則2025年版 変更規則Iを以下のように部分変更して、堺春季大会競技規則とする。

《Dスコア》

難度点 (DV)	跳馬・・・2025年版採点規則の難度点に1.40点をプラスする。 段違い平行棒・・・終末技を含む最大8つの高い順からの難度を数える。 平均台・・・終末技を含む最大8つの高い順からの難度を数える。 (アクロバット系、ダンス系の区別はしない。) ゆか・・・最大8つの高い順からの難度を数える。 (アクロバット系、ダンス系の区別はしない。) 同一技の難度は演技の中で、1回のみ承認される。
構成要求 (CR)	4つの構成要求を各0.5点とし、最大2.00点とする。
加点	段違い平行棒・平均台・ゆかの演技において、以下のように加点する。 *質の高い演技 および構成 に対して、最大0.5点を与える。 演技の一部分または全体の流れに対して評価する。 ・身体の詳細までコントロールされた常に美しい姿勢 ・欠点のない正確な技の実施 ・雄大さ(宙返りの高さ・振幅の大きさ など) * B難度以上の終末技 に対してボーナスとして、 +0.20点 を与える。 (各種目の項に記載) (転倒した場合は与えない。)

《Eスコア》

10.00から、実施と芸術性の減点をする。

《短い演技》

短い演技の場合、Eスコアの最高点は以下の通りとする。

6技以上の実施	・・・10.00
5技の実施	・・・8.00
4技の実施	・・・6.00
3技の実施	・・・5.00
2技の実施	・・・4.00
1技の実施	・・・3.00

《跳馬》

- ・2回の跳躍を実施し、良い方の得点を有効点とする。
- ・跳躍台の高さ 120cm
- ・開脚跳び・閉脚跳び・台上前転のDスコアは1.00とする。Eスコアの最高点は5.00とする。
- ・台上倒立前転のDスコアは2.00とする。Eスコアの最高点は7.00とする。

《段違い平行棒》

構成要求 (CR)	①低棒け上がり ②高棒け上がり ③棒に近い回転系の技 ④③とは異なる棒に近い回転系の技
種目特有の 減点	・「低棒から高棒へジャンプして移動する -0.50」を削除する。 ・「 開始技としての低棒け上りの助走 -0.50 」を追加する。
A難度を 認められる技 (構成要求に 使用できる)	・開始技としてのさかあがり 開始技で低棒け上がりを行ったが承認されなかった。 そのち、さかあがりを行ったとき、さかあがりのA難度は認められる。 ・そんきよ ・ 高棒からの棒下振り出しおり(低棒からの実施はA難度としては認められない)
終末技 ボーナス	終末技が B難度以上 の場合は +0.20点 を与える。 (転倒した場合は与えない)

〈補足説明〉

低棒から棒下振り出し下りを実施した場合(低棒からの実施はA難度としては認められない)

- ・終末技なし -0.50 (最終スコアから)
- ・落下とみなす(採点規則に則る) -1.00 (E審判)

《平均台》

構成要求 (CR)	①180度の開脚(前後/左右)または左右開脚屈身のリープ・ジャンプを1つは含む 少なくとも2つのダンス系の技からなる直接の組み合わせ(*4) ②片足上のターン(360度以上)または接転系の技(*1) ③前方/側方のアクロバット系の技(前転を除く) ④後方のアクロバット系の技(後転を除く)
種目特有 の減点	変更なし
A難度を 認められる技 (構成要求に 使用できる)	・伸身とび ・かかえこみとび ・前転(座の姿勢またはしゃがみ立ちへ) ・前転とびおり ・ 側転とびおり ・片足ふみきり側方伸身宙返りおり ・片足ふみきり前方伸身宙返りおり
終末技 ボーナス	終末技が B難度以上 の場合は +0.20点 を与える。 (転倒した場合は与えない)

*1 接転系の技・・・前転・後転・前転上がり・手支持なしで前転・倒立前転

〈補足説明〉

終末技を実施しない場合(例1:ジャンプでおりた 例2:側転とびおりをした)

- ・終末技なし -0.50 (最終スコアから)
- ・落下とみなす(採点規則に則る) -1.00 (E審判)

《ゆか》

構成要求 (CR)	①180度の開脚(前後/左右)または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つのリープ またはホップの直接または間接の組み合わせでの移動(*2)(*4) ② 少なくとも2つの空中局面を伴う技からなるアクロバット系シリーズ(同一技でもよい) ③前方/側方の空中局面を伴うアクロバット系の技(*3) ④後方の空中局面を伴うアクロバット系の技(*3)
種目特有 の減点	変更なし
A難度を 認められる技	・前方倒立回転 ・側方倒立回転 ・後方倒立回転 ・倒立前転 ・後転倒立 ・かかえこみとび
終末技 ボーナス	アクロラインを2本以上実施した場合、最後のアクロラインのB難度以上の宙返りに、 +0.20点を与える。(転倒した場合は与えない) (*5)

- *2 間接・・・ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入ったもの。
ダンス系の技での移動で**1つ目のリープまたはホップは片足で着地しなければならない。**
- *3 空中局面を伴うアクロバット系の技・・・前転とび、後転とび、ロンダートは含まれる。
- *4 リープ・・・片足踏み切り、もう一方の足または両足で着地。
ホップ・・・片足踏み切り、その足または両足で着地。
ジャンプ・・・両足で踏み切り、片足または両足で着地。
- *5 アクロライン・・・1つの宙返りを含む少なくとも2つの空中局面を伴う技の直接の組み合わせ。

採点の最重要項目

- ①**身体の細部までコントロールされたハリのある美しい姿勢。**
- ②**大きさのある実施(技・運動・動き)。**
- ③**欠点のない正確な技の実施。**

《採点指針》

跳馬	・跳躍全体にスピード感があり、高さや距離を伴うダイナミックな実施。 ・着地の先取りができた高い体勢での安定した着地。
段違い平行棒	・腕の曲がり、膝・つま先の緩みがない美しく伸びた体線での正確な実施。 ・振幅が大きいダイナミックな実施。
平均台	・立ち姿勢や歩く姿勢も含め、常に身体の細部までコントロールされた美しい姿勢での演技。 ・正確で安定したアクロバット系の技の実施。 ・ジャンプ・リープ・ホップに高さや身体のハリがあり、すべてのダンス系の技において姿勢欠点がない正確な実施。 ・身体を最大限に使い、リズムとテンポの変化に富んだ流れのある芸術的な演技。
ゆか	・立ち姿勢や歩く姿勢も含め、常に身体の細部までコントロールされた美しい姿勢での演技。 ・アクロバット系の技の高さがあり、着地姿勢までコントロールされた正確な実施。 ・ジャンプ・リープ・ホップに高さや身体のハリがあり、すべてのダンス系の技においてコントロールされた正確な実施。 ・身体を最大限に使い、表情だけでなく身体全体で表現された芸術的な演技。